



2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9220
 四半期報告書提出予定日 2022年10月13日 配当支払開始予定日 2022年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	14,523	8.7	295	△68.0	846	△27.3	504	△62.9
2022年2月期第2四半期	13,366	17.8	923	820.0	1,163	—	1,359	—

(注) 包括利益 2023年2月期第2四半期 1,647百万円 (△13.3%) 2022年2月期第2四半期 1,900百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第2四半期	53.94	—
2022年2月期第2四半期	144.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年2月期第2四半期	31,092	21,717	60.9	2,053.05
2022年2月期	29,008	20,551	61.9	1,914.94

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 18,945百万円 2022年2月期 17,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年2月期	—	20.00	—	—	—
2023年2月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	15.4	1,110	△22.6	1,700	△15.5	1,000	△44.7	107.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2022年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」
 をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期2Q	9,696,500株	2022年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2023年2月期2Q	468,970株	2022年2月期	316,570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期2Q	9,340,232株	2022年2月期2Q	9,377,118株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2022年10月17日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 製品およびサービスに関する情報	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇や供給制約が下押し圧力となったものの、各種行動制限の緩和に伴い、個人消費は回復基調で推移しました。世界経済においては、ウクライナ紛争の長期化が世界的なインフレに拍車をかけています。また、日米の金融政策の相違が急激な円安をもたらしています。

このような状況のもと当社グループにおいては販売価格の是正により、売上高は14,523百万円（前年同期比8.7%増）となったものの、原材料価格は依然として上昇基調にあり、販売価格への転嫁までにタイムラグが生じていることから、営業利益は295百万円（前年同期比68.0%減）となりました。急激な円安進行による為替差益の計上により、営業外損益は大幅増益となったものの、経常利益は846百万円（前年同期比27.3%減）となりました。また、前年同期の特別利益（固定資産売却益833百万円）の剥落もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は504百万円（前年同期比62.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①日本

全体的には前年同期を上回る販売数量を確保したことに加え、販売価格の是正により増収となりました。増減の内訳は次の通りです。

特殊潤滑油部門では、国内自動車生産台数減によるダイカスト用油剤の減少を、高真空ポンプ油および難燃性作動液の需要回復や切削油剤の新規拡販等がカバーしたことにより、前年同期を上回る数量となりました。ホットメルト接着剤部門では、自動車関連での減少を、衛生材、粘着用途の増加がカバーし前年同期を上回る数量となりました。素材部門は、国内出荷が増加した一方で輸出が減少したことにより前年同期並みの数量となりました。合成潤滑油部門では、ハードディスク表面潤滑剤が円安の影響で増収となった半面、自動車生産台数減により、高温用潤滑油の数量は減少しました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客への売上高は9,624百万円（前年同期比6.3%増）となりましたが、原材料価格高騰の影響によりセグメント利益は143百万円（前年同期比74.3%減）となりました。

②中国

部品供給の制約やゼロコロナ政策による活動制限の影響を受け、自動車生産台数は前年同期を下回る状況の中、特殊潤滑油は、数量は減少したものの販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。ホットメルト接着剤は、空気清浄機用フィルター用途での需要が一服したこと等により減収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,737百万円（前年同期比3.6%増）となりましたが、原材料価格高騰の影響によりセグメント利益は95百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

③東南／南アジア

特殊潤滑油は顧客での在庫調整の影響等により数量は減少したものの販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。ホットメルト接着剤はインドおよびインドネシアでの数量増により増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は2,726百万円（前年同期比23.6%増）となりましたが、原材料価格高騰の影響によりセグメント利益は41百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

④北米

メキシコにおける日系自動車メーカーの稼働率低下の影響等により数量は減少しましたが、販売価格の是正と円安の進行により増収となりました。

この結果、当セグメントの外部顧客への売上高は436百万円（前年同期比1.0%増）となりましたが、原材料価格高騰の影響によりセグメント利益は32百万円（前期比57.9%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ウクライナ紛争の勃発とその長期化等により、原材料価格が当初の想定を上回る状況が継続しております。このような状況のもと、当社グループにおいては販売価格の是正による利益の確保に努めておりますが、販売価格への転嫁までに一定のタイムラグが生じることから、上期においては売上高が14,523百万円（前年同期比8.7%増）に対して営業利益が295百万円（前年同期比68.0%減）と、増収減益の結果となりました。

下期においては、販売価格の更なる是正により営業利益率は改善するものと見込んでおりますが、原材料価格の上昇もまた当面の間継続するものと想定されることを踏まえ、2023年2月期通期連結業績予想を修正いたします。詳細については、本日（2022年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,001	4,166
受取手形及び売掛金	6,844	7,524
商品及び製品	2,935	3,160
原材料及び貯蔵品	2,391	2,942
その他	461	521
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	16,607	18,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,540	3,577
機械装置及び運搬具(純額)	2,035	2,049
土地	1,954	1,967
その他(純額)	774	802
有形固定資産合計	8,304	8,395
無形固定資産		
のれん	219	156
その他	413	494
無形固定資産合計	633	649
投資その他の資産	3,465	3,764
固定資産合計	12,401	12,808
資産合計	29,008	31,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,308	4,926
短期借入金	560	1,546
未払法人税等	427	185
賞与引当金	529	535
その他	1,437	891
流動負債合計	7,260	8,083
固定負債		
長期借入金	350	382
退職給付に係る負債	531	550
その他	316	361
固定負債合計	1,197	1,292
負債合計	8,457	9,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,976	1,976
利益剰余金	13,517	13,834
自己株式	△384	△567
株主資本合計	17,227	17,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	61
為替換算調整勘定	505	1,335
退職給付に係る調整累計額	191	188
その他の包括利益累計額合計	735	1,583
非支配株主持分	2,589	2,773
純資産合計	20,551	21,717
負債純資産合計	29,008	31,092

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
売上高	13,366	14,523
売上原価	8,822	10,484
売上総利益	4,544	4,039
販売費及び一般管理費	3,621	3,744
営業利益	923	295
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	10	14
持分法による投資利益	90	53
為替差益	107	454
その他	31	28
営業外収益合計	249	560
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	5	5
営業外費用合計	9	9
経常利益	1,163	846
特別利益		
固定資産売却益	833	—
特別利益合計	833	—
税金等調整前四半期純利益	1,996	846
法人税、住民税及び事業税	655	296
法人税等調整額	△128	△11
法人税等合計	527	286
四半期純利益	1,469	560
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,359	504

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	1,469	560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	26
為替換算調整勘定	391	1,022
退職給付に係る調整額	2	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	29	42
その他の包括利益合計	431	1,086
四半期包括利益	1,900	1,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,712	1,352
非支配株主に係る四半期包括利益	188	294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,996	846
減価償却費	590	612
持分法による投資損益 (△は益)	△90	△53
有形固定資産売却損益 (△は益)	△838	△2
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△18	△28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	1
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	448	△298
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△544	△418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△283	389
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12	△97
その他	△7	26
小計	1,285	961
利息及び配当金の受取額	226	108
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△179	△530
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,327	535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△15	65
有形固定資産の取得による支出	△378	△744
有形固定資産の売却による収入	1,505	2
無形固定資産の取得による支出	△29	△21
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
その他	△33	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,043	△718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,976	1,031
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△239	△238
自己株式の取得による支出	—	△194
配当金の支払額	△235	△188
非支配株主への配当金の支払額	△38	△111
その他	△15	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,504	487
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△147	227
現金及び現金同等物の期首残高	3,675	3,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,528	4,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新規に設立しました莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。これにより、当該期首残高に与える影響はありません。

当会計基準の適用による変更内容は、以下のとおりであります。

・顧客への製品販売

従来は船積み基準を適用していた輸出販売のうち、船積時点ではリスク負担が移転しない契約については、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づいて、リスク負担が顧客に移転したときに収益を認識する方法に変更しております。

・有償受給取引

顧客から原材料等を仕入れ、加工を行ったうえで当該顧客に販売する有償受給取引等において、従来は原材料等の仕入価格を含めた対価の総額で収益を認識しておりましたが、原材料等の仕入価格を除いた対価の純額で収益を認識することとしております。また、原材料の期末棚卸高について、棚卸資産に含めて表示しておりましたが、流動資産その他に含めて表示しております。

・有償支給取引

有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について有償支給取引に係る負債を認識しております。

・代理人取引

一部の代理店との取引について、従来は顧客が支払う対価の額から代理店への手数料を差し引いた純額を収益として認識しておりましたが、顧客が支払う対価の総額を収益として認識し、代理店への手数料を費用として認識する方法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,053	1,677	2,205	432	13,366	—	13,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	730	166	121	8	1,024	△1,024	—
計	9,782	1,843	2,326	439	14,390	△1,024	13,366
セグメント利益	558	235	63	76	932	△9	923

(注) 1. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去8百万円、棚卸資産の調整額△16百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,624	1,737	2,726	436	14,523	—	14,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	689	198	82	12	982	△982	—
計	10,313	1,936	2,808	448	15,505	△982	14,523
セグメント利益	143	95	41	32	311	△16	295

(注) 1. セグメント利益の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去0百万円、棚卸資産の調整額△16百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識に関する会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。当該変更による影響は軽微であります。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
特殊潤滑油	7,027	110.8%
合成潤滑油	991	95.9%
素材	1,855	111.0%
ホットメルト接着剤	3,754	112.9%
エネルギーデバイス材料	84	65.5%
その他	812	94.6%
合計	14,523	108.7%

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	5,191	474	94	5,759
II. 連結売上高(百万円)				14,523
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	35.7%	3.3%	0.6%	39.7%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。